

自然と遊ぼう!

Goby Fishing



Let's はぜ釣り

1 STEP

さおは一段一段、しっかり止まるように引き出します。



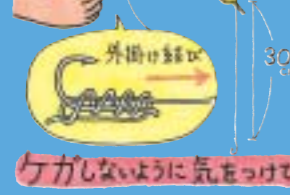
2 STEP

糸の長さは、さおとほぼ同じ長さに。



3 STEP

糸の先に針をつけ、30センチメートルくらいさおよりの位置に浮きをつけます。



4 STEP

えさとなるゴカイを頭の方から針を通すように差し込んで、5ミリメートルくらいで切り離します。



5 STEP

あとは糸を放ってヒットを待つのみです。



※糸、浮き、針などがセットになってさおにつけるだけの仕掛けも売っています。STEP 3の手順が省けて簡単!



市川市子ども会育成連絡協議会

市内各地区にある「子ども会」を、13地区に分け、それぞれに地区子ども会育成会連絡協議会を組織しています。これを総括するのが、市川市子ども会育成連絡協議会(略称・市子育連)です。市川市の子どもの健全な活動と発展を図り、未来を担う青少年の健全育成を目的に、はぜ釣りをはじめとするさまざまな主催事業を行っています。創立は40数年前。会員数は1万3000人と県内でトップを誇ります。

考えて工夫することが釣りの楽しさ
今年のハゼは冷夏の影響で成長が遅いそうです。まずハゼの大きさを読み、ハゼが小ぶりなら、その口の大きさに針とえさの大きさを合わせる工夫が必要です。えさはゴカイを5ミリメートルぐらいの大きさに切って針にさします。大きすぎてもえさを保持しきれないだけです。ゴカイを触ることができない女の子もいますが、なんとお父さんに手伝わってもらっ



江戸川にいる生き物を採集。

てトライ。「どうしてもお父さん主導となってしまいがちですけど、それでいいんです。子どもは父親の背中を見て育つものです。思い出づくりをしてもらって、大人になったら今度は自分の子どもを連れて来て欲しい」と数崎さん。家族の会話があちこちで弾む「はぜ釣り大会」でした。



今年のハゼはちょっと小ぶり。



子どもよりもお父さんのほうが夢中。

とまじいながらも1匹釣れました。



自然と遊ぼう!

2003年8月3日、長かった梅雨がやっと明け、早朝から真夏の太陽が川面を照りつける中、恒例の「はぜ釣り大会」が幕を開けました。今年のはぜは小さいけれど、当たりの感触は一生の思い出です。今回は家族で楽しめるはぜ釣りを紹介します。

江戸川

はぜ釣り大会

Goby Fishing

小さな生き物たちの大きな感触を家族で楽しむ

水のかかわりの中で、覚えて欲しい

市川市子ども会育成連絡協議会が主催する「はぜ釣り大会」は、おおよそ2時間の間に、子どもたちが釣り上げたハゼの数を競う大会です。40数年の歴史ある伝統的な夏行事でもあり、市内から集まった200人近いハゼ釣りを楽しむ親子で、川岸が埋めつくされました。

「つれないよー」
「休憩は1匹釣ってからだよ」
「水に入っても、いい?」
「だめ!」

30分もすると、そろそろ飽きてきた子どもたちが音を上げ始めました。子どもたちより夢中なのは、実はお父さんという光景があちこちで見られます。

「潮どきに関係なく、開催日は8月の第1日曜日と決めているので、釣りに良いときも悪いときもあるのです。それでも、はぜ釣りを通して自然を体験し、不用となったテグスや針をゴミにしないなど、自然とのかかわりを覚えて欲しいと思っています。」と市川市子ども会育成連絡協議会会長の数崎忠雄さんは言います。